

# 宮浦中学校 校内研修 4月30日 資料

## 1 平成27年度第1・2期中核教員研修のまとめ 4月25日・26日

### 1 本県の学びの変革に向けて (下崎教育長)

#### ①広島県教育の経過と現状

平成10年には是正指導が入り、文科省や県教委による広島県の教育の立て直しが行われた。それから10年間は学力向上の施策・基礎学力の向上に取り組み、学力は向上していった。しかし、学力は右肩上がりだったが、平成20、21年あたりに頭打ちとなり停滞している



「知識の量」から「知識の構造(質)」へ

※何をどれだけ知っているかよりも、その質(知識の構造化)が重要である。

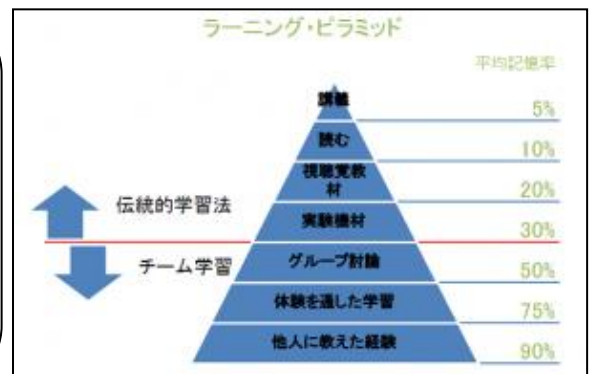
#### ②アクティブラーニング

アクティブラーニングとは・・・一方向的な知識伝達型講義を聞くという(受動的)学習ではなく、(主体的な学び) 生徒が主体となる能動的な学習。(以下の5つがポイント)

- ①生徒が授業を聴く以上の関わりをしている。
- ②情報の伝達でなくスキルの育成に重きを置く。
- ③生徒が分析、総合、評価など高次の思考に関わっている。
- ④生徒が活動(読む、議論する、書くなど)に関与(没頭)している。
- ⑤生徒が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれている。

#### ③主体的な学びの3つのポイント

- ①能動的な学び・・・内的動機づけに基づき、学習への心構えができ、自ら学びに関与している。
- ②学習者基点の学び・・・自分で知識を構成できる。自分の経験と学校での学びを結びつける。
- ③深い学び・・・ICEモデル(I:考え・基礎, C:つながり, E:応用, ひろがり)のEの内容の学習をする。(計画, 展開, 評価, 推定, 予測など)



(平均学習定着率調査)

※平均学習定着率の調査でも、講義を受けたり、読んだりすることよりも、グループ討論や、体験学習、他人に教えるなどの主体的な学びを行った方が定着率が高い。

#### ④主体的な学びを推進するために

協働学習、問題解決学習、シミュレーション学習によって促進する。

協働学習とは、すべての生徒が、共有した学習目標の達成に向け、協同の精神に則り、自分と仲間の学習過程に深く関与し、主体的かつ能動的に教え合い、学び合う授業であり、そこにおいては、学習者一人一人の確かな学力と変化の成長が期待できる。

(例) 話し合い、教え合い、問題解決、図解(KJ法など)、文章作成(レポート、論文など)

## 2 コンピテンシー（資質・能力）を基盤とした教育について（上智大学 奈須正裕先生）

## ①教育方針の転換

○文科省の大臣諮問において、昭和33年から続いた教育方針の転換が示唆された。

I 教育課程編成の基盤が内容（学習指導要領）から、資質・能力（コンピテンシー）へと移行。

II 教育方法は現場に一任されていたが、一部転換し教育方法について国が何らかの示唆を行う？

○これからは知識（コンテンツ）ではなく、資質・能力（コンピテンシー）が重要である。

※学力が高くて将来成功するとは限らない。その逆もある。大切なのはコンピテンシー。

## ②これからの授業づくりの2つのポイント

## I オーセンティック（本物）な学習

・本物の社会的実践に近づける。（保健室の資料から校内のけがのグラフ。天気予報から資料の活用）

（例）割り算の授業をした後で、割り算を使う適応題をしない。自分の考えを確認できるようにする。

## II 明示的な指導

・学習の過程で経験したことを明示化（自覚化）し、道具化（概念化・言語化）し、様々な場面で組織的に『活用する』ことで、教科の本質や汎用的スキルを身に着けられる。

（直列つなぎの方が明るいけどそれはどんな方法で比べられますか。）

## 2 今年度宮浦中学校で取り組むこと

## ①総合的な学習の時間の全体計画（来年度のもの）

## ②資質・能力をどのように身に着けるかの年間指導計画（総合と数学（松本）のみ）

本年度本校で身に着けさせたい、資質・能力は①～⑪の11個。

**【知識】【スキル】** ①課題解決能力 ②知識・情報活用能力 ③表現力 ④コミュニケーション能力  
**【意欲・態度】** ⑤協調性・柔軟性 ⑥責任感 ⑦主体性・積極性  
**【価値観・倫理観】** ⑧自己理解 ⑨共感力 ⑩公共心 ⑪人としての思いやり

## ③教科の『課題発見・解決学習』の単元計画を含む指導案（1単元）

※パイロット教員は単元の全時間の指導案を作成する。

パイロット教員以外は、1時間分の指導案（課題発見・解決学習の単元計画は作成ください）

※指導案は別紙参照。

【date】職員共有→平成27年度職員室→005 27 研究・研修→27 研修→H27 指導案フォーマット

## ④総合的な学習の時間の『課題発見・解決学習』の単元計画を含む指導案（1単元）

※パイロット教員の学年は全時間の案があるもの。

他学年の総合担当は、1時間分の本事案のみ。